2027年3月期
第1四半期 決算説明会

2026年8月10日

セイコーグループ株式会社

1. 実績・業績予想のポイント
2. 第1四半期 実績
3. 通期業績予想

1. 実績・業績予想のポイント
2. 第1四半期 実績
3. 通期業績予想

実績・業績予想のポイント

第1四半期実績（4-6月累計）

売上高　991億円（前年同期比 ＋28.5%）　**営業利益　154億円**（前年同期比 ＋88.8%）

- EVS、DSドメインが牽引し大幅な増収増益を達成

通期業績予想

売上高　3,750億円（前回比 ＋170億円）　**営業利益　410億円**（前回比 ＋75億円）

- 第1四半期の大幅な増収増益を踏まえ、通期業績予想を上方修正
- 米国関税還付の影響は約22億円を見込む（うち、第1四半期影響額 約5億円）

株主還元

- 業績予想の上方修正に伴い、年間配当予想を**105円（15円の増配）**に修正
  （第2四半期末：52.5円（前回比+7.5円）、期末：52.5円（同+7.5円））

1. 実績・業績予想のポイント

2. 第1四半期 実績

3. 通期業績予想

2027年3月期　損益　第1四半期（累計：4月-6月）

（億円）		26/3期 Q1	27/3期 Q1	増減 増減額	増減 増減比
売上高		771	991	+220	+28.5%
売上総利益		357	478	+121	+33.8%
%		46.3%	48.2%	+1.9pt	
営業利益		82	154	+73	+88.8%
%		10.6%	15.6%	+5.0pt	
経常利益		85	165	+80	+94.3%
%		11.0%	16.6%	+5.6pt	
税金等調整前四半期純利益		90	165	+74	+82.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益		64	112	+48	+76.3%
%		8.2%	11.3%	+3.1pt	
換算レート	USD	144.6	159.6	+15.0	+10.4%
	EUR	163.8	185.4	+21.6	+13.2%

対前年増減内訳

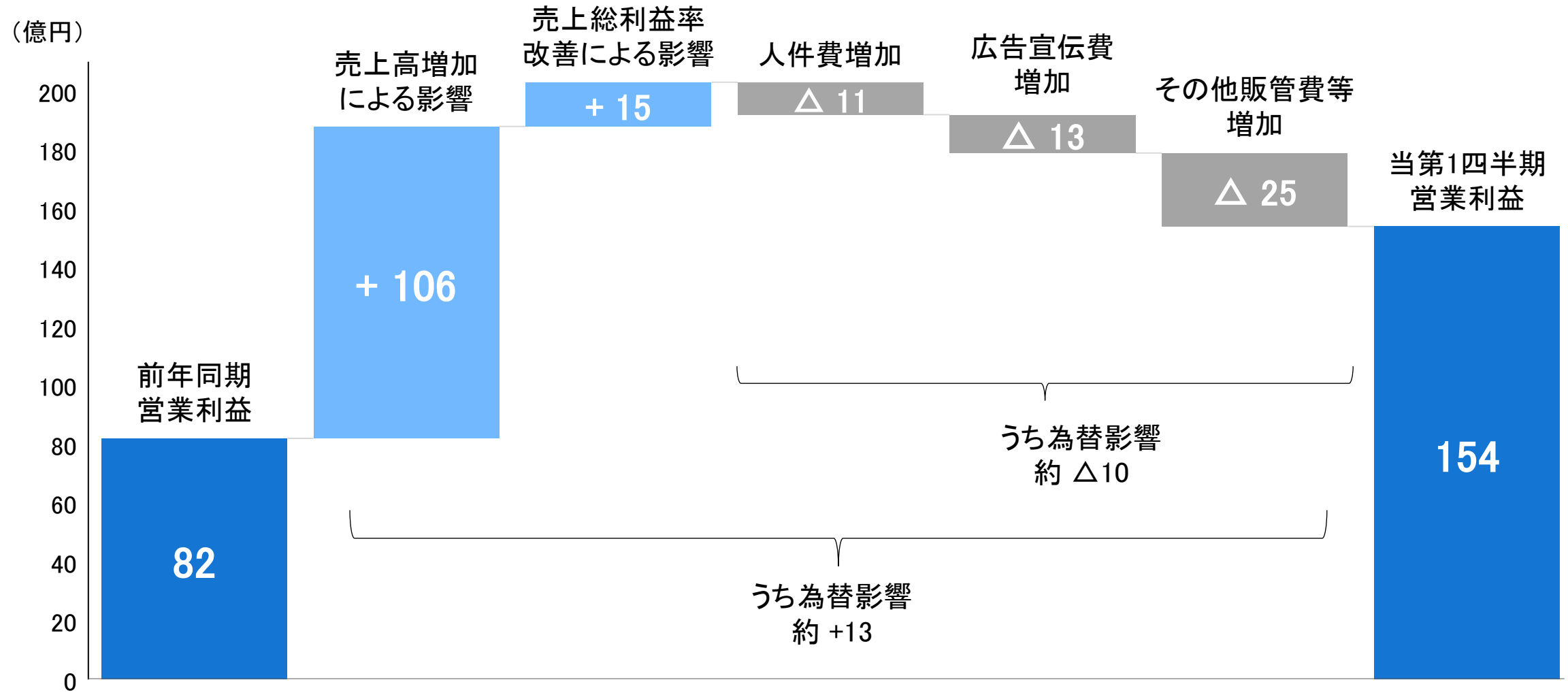
売上高	＋220
（うち、為替影響	約＋38）

営業利益	＋ 73
（うち、為替影響	約＋13）
売上高増加による影響	＋ 106
売上総利益率改善による影響	＋ 15
販売管理費増加	△ 48

経常利益	＋ 80
営業利益増加	＋ 73
為替差損益	＋ 2
持分法投資損益	＋ 6
その他	＋ 0

2027年3月期　第1四半期　営業利益増減分析

■ EVS、DSドメインが牽引し、営業利益が大幅に増加



セグメント別売上高・営業利益　第1四半期（累計：4月-6月）

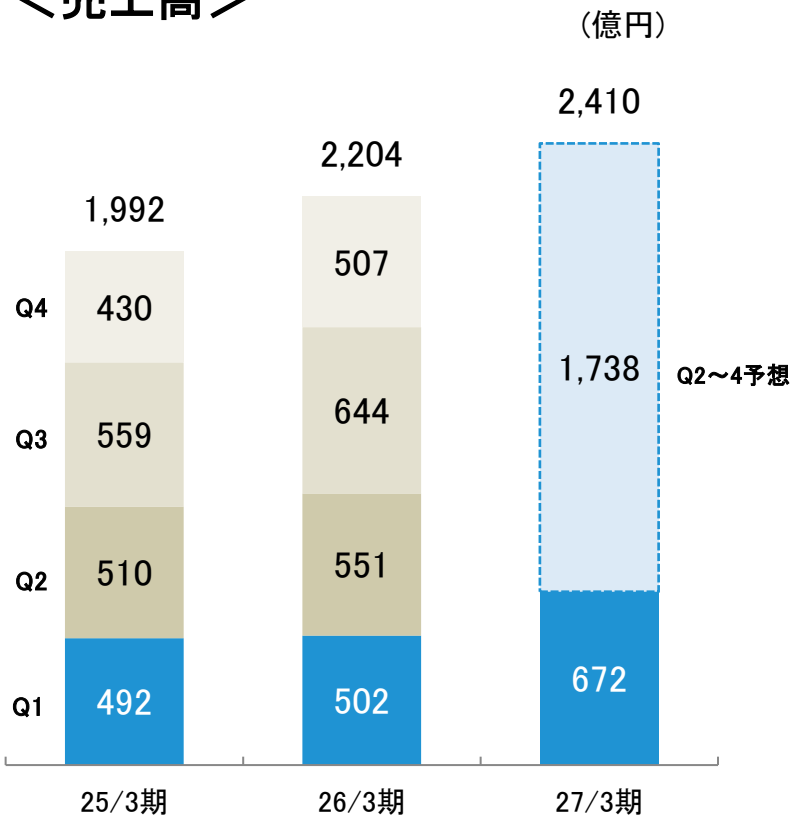
（億円）

		売上高 (構成比)			営業利益		
		26/3期 Q1	27/3期 Q1	増減	26/3期 Q1	27/3期 Q1	増減
エモーショナル バリュー ソリューション	ウオッチ事業	470 (61%)	**630** (64%)	+160	75	**133**	+59
	その他・調整	32 (4%)	**42** (4%)	+10	3	**7**	+4
	計	502	**672**	+170	77	**140**	+63
デバイスソリューション		164 (21%)	**204** (21%)	+41	11	**24**	+12
システムソリューション		127 (16%)	**137** (14%)	+10	10	**10**	+0
計		792	**1,013**	+221	98	**173**	+75
その他		9 (1%)	**11** (1%)	+2	1	**1**	+0
調整額		△30 (△4%)	**△34** (△3%)	△4	△17	**△20**	△3
連結計		771	**991**	+220	82	**154**	+73

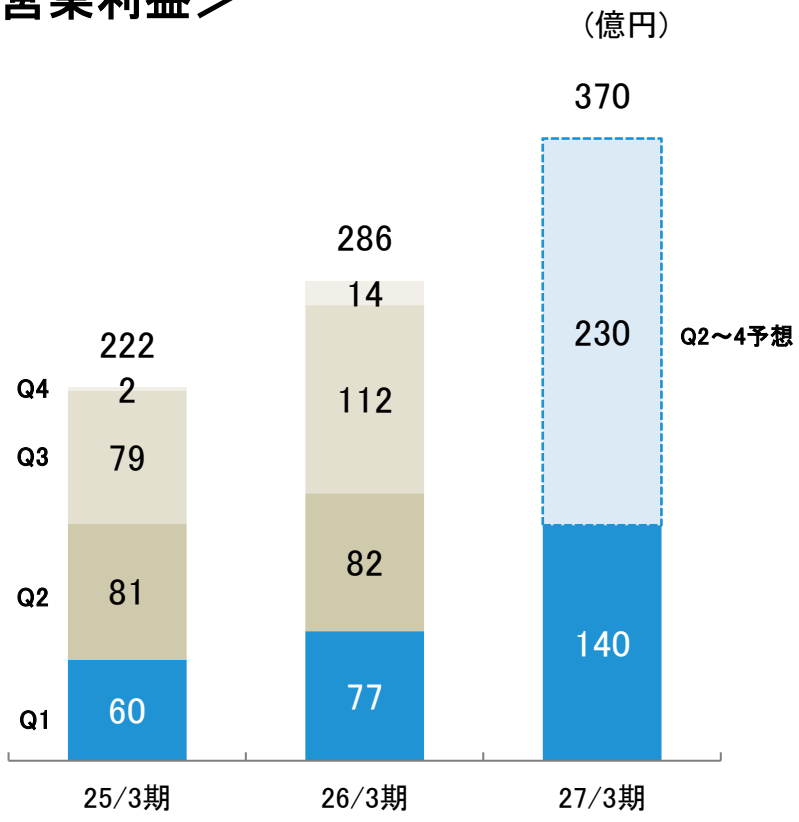
EVSドメイン　売上高・営業利益

■ ウオッチ事業が国内、海外とも売上高を大きく伸ばし、和光事業も好調に推移したことで大幅な増収増益

＜売上高＞



＜営業利益＞



＜営業利益率＞

	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
27/3期	20.8%				
26/3期	15.4%	14.9%	17.4%	2.8%	13.0%
25/3期	12.2%	15.9%	14.1%	0.6%	11.2%

ウオッチ事業　売上高・営業利益

完成品ウオッチ

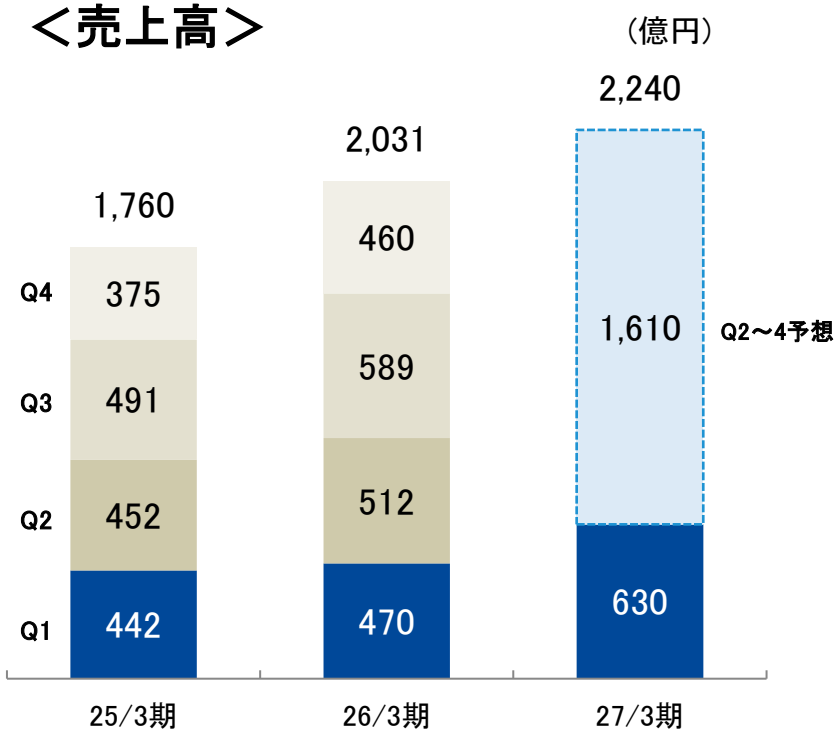
■ 国内、海外ともグローバルブランドであるGS、プロスペックス、プレザージュ、5スポーツが好調に推移し、前年同期から大幅な増収

■ 国内は内需、インバウンド需要とも好調に推移し、海外も、米州、欧州、アジアの各エリアで伸長

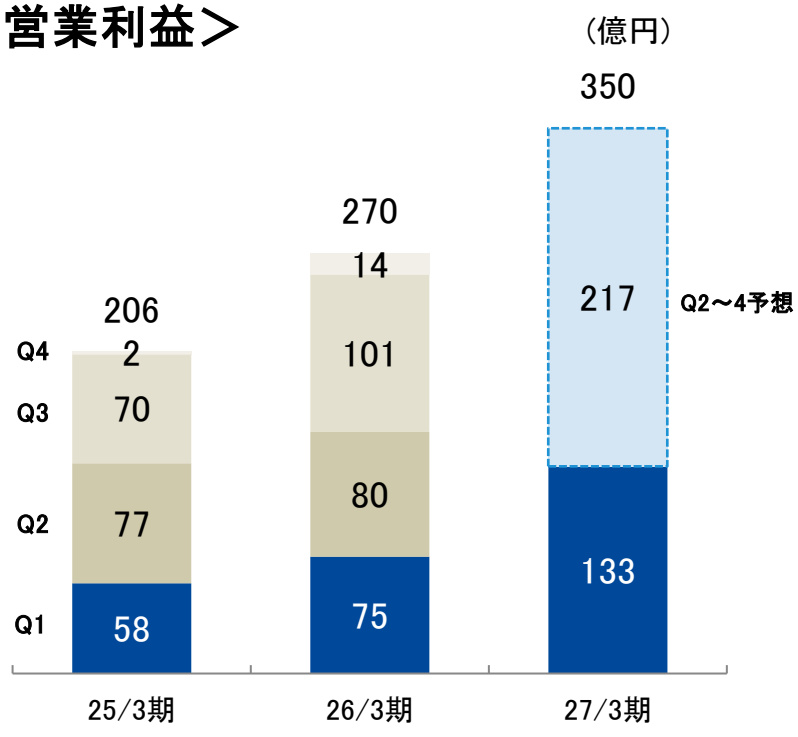
ムーブメント

■ 外販ビジネスは、堅調に推移し、前年同期から増収

＜売上高＞



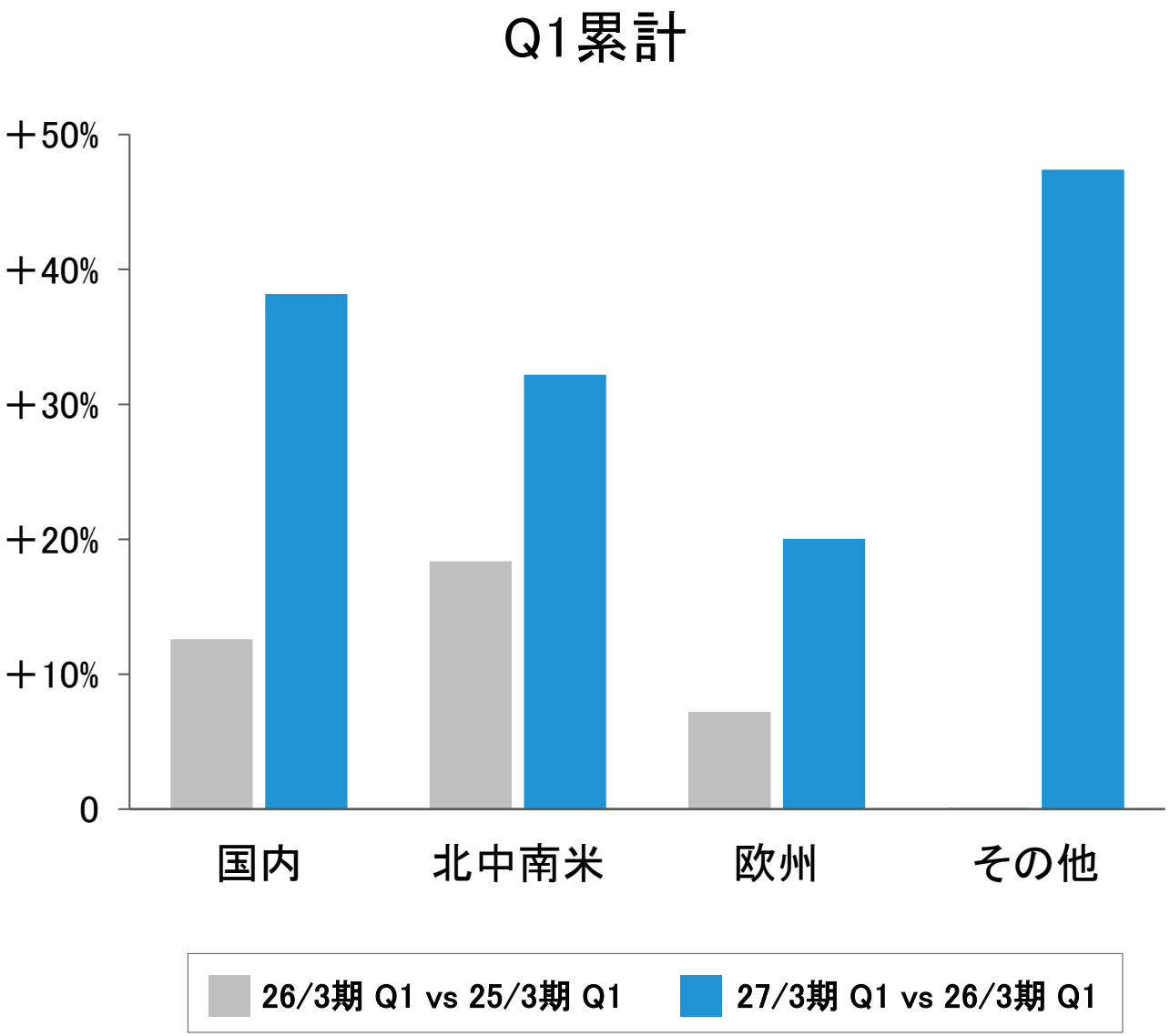
＜営業利益＞



＜営業利益率＞

	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
27/3期	21.2%				
26/3期	15.9%	15.5%	17.1%	3.1%	13.3%
25/3期	13.0%	17.0%	14.2%	0.5%	11.7%

ウオッチ完成品売上高伸び率 （現地通貨ベース）



国内

■ GSは堅調な内需に加え、旺盛なインバウンド需要に牽引され大幅に伸長。セイコーGBも広告効果が継続し、プロスペックスを中心に好調に推移

北中南米

■ GSは主力モデルの好調さが牽引し前年を大きく上回り、セイコーGBはプロスペックス、プレザージュ、5スポーツが好調に推移

欧州

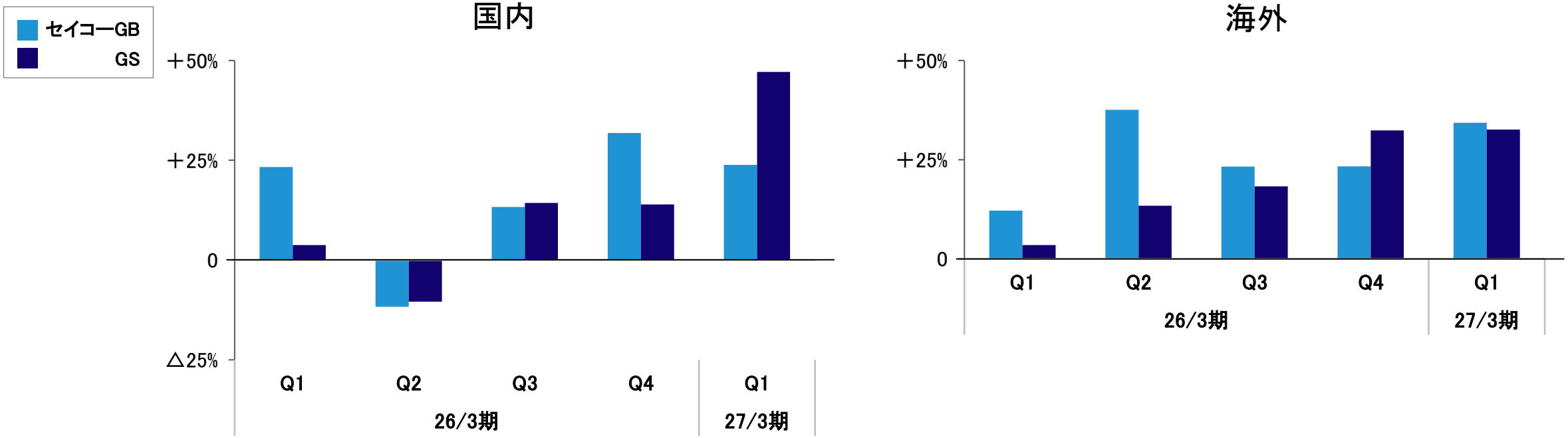
■ 高級品市場に回復の兆しが見えるもののGSは前年並みに推移。一方、セイコーGBはプロスペックス、プレザージュ、5スポーツが好調に推移
■ 特にイタリア、イギリスなどが堅調

その他

■ インドはGS及びセイコーGBともに大幅な伸長
■ 台湾、タイは流通整備が奏功し復調の兆し

ウオッチ事業　GS・セイコーGB売上高

GS・セイコーGB売上高伸び率（現地通貨ベース）



売上高GB比率（Q1）

国内

25/3期	26/3期	27/3期
約 70 %	約 75 %	約 75 %

海外

25/3期	26/3期	27/3期
約 70 %	約 75 %	約 75 %

グローバルブランド（GB）
グランドセイコー(GS)、キングセイコー、セイコー プロスペックス、セイコー アストロン、セイコー プレザージュ、セイコー 5スポーツ

ウオッチ事業　トピックス

■ 世界に1本だけの100万時間を積算可能な機械式腕時計 Seiko Star Timeを大谷翔平選手へ贈呈

大谷翔平選手の「野球選手として、あとどれくらいの時間を積み重ねられるだろう」という想いに応え、セイコーの技術と知見を結集し、100万時間（約114年）にわたり時間を積算する前例のない機構を約3年かけて開発



悠久の時を流れる星になぞらえ、大谷選手がこれまで積み重ねてきた時間とこれから重ねていく時間を表現するために生まれた機械式腕時計

5層の円盤針が内側から24時間、1,000時間、10,000時間、10万時間、100万時間までの積算時間を表示



大谷選手のセイコーブランドアンバサダー就任10周年となる節目を記念し、「SHO-ism　Seiko | Shohei Ohtani - 10 Years Journey」を開催
東京：2026年7月3日～5日／大阪：2026年8月1日～2日

EVSドメイン　トピックス

■ 和光本店3階・4階を「スタイルスクエア」として7月18日にリニューアルオープン

2020年より進めてきた和光本店の改装が節目を迎え、館全体で商品・空間・接客が一体となり、和光ならではのブランド価値を体感できる場へと進化。3・4階では、「美意識とともに暮らす文化」をコンセプトに、バッグやアパレルなどのラインアップを拡充







【フロア構成】

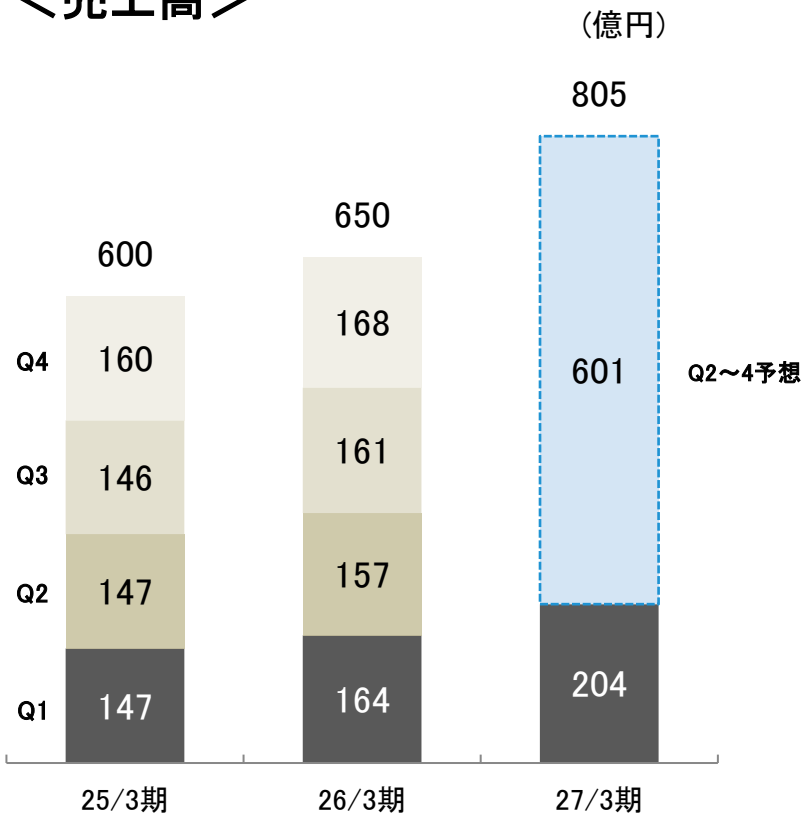
3階：バッグ、スモールレザーグッズ、靴、アクセサリー、ハンカチーフ

4階：アパレル、オーダーメードウエア、ネクタイ、アイウエア

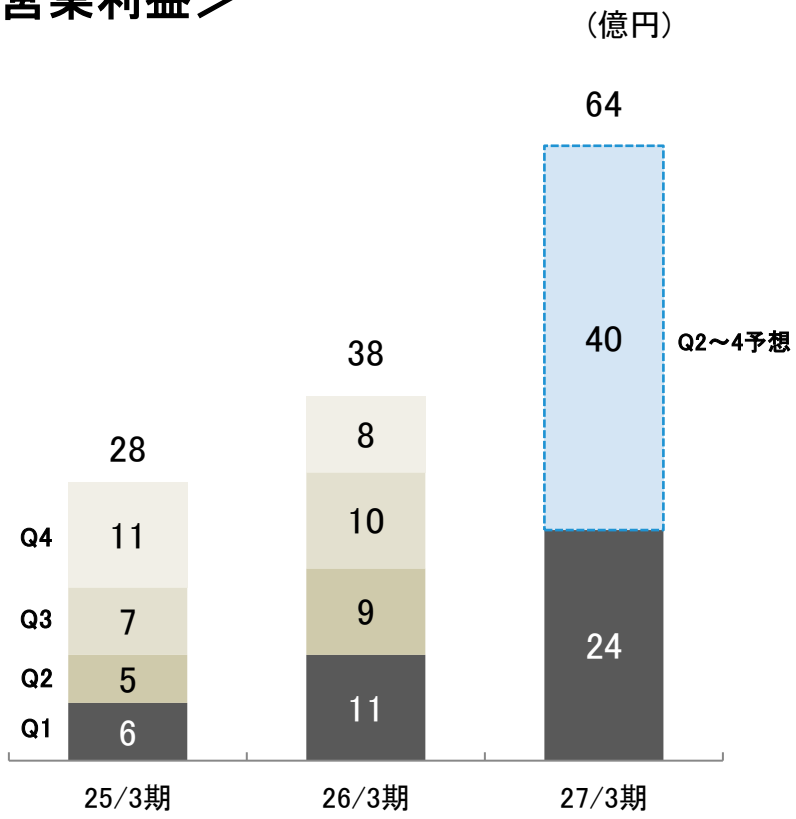
DSドメイン　売上高・営業利益

■ 電子デバイス、精密デバイス、プリンティングデバイスともに前年同期から増収、DSドメイン全体で大幅な増益

＜売上高＞



＜営業利益＞



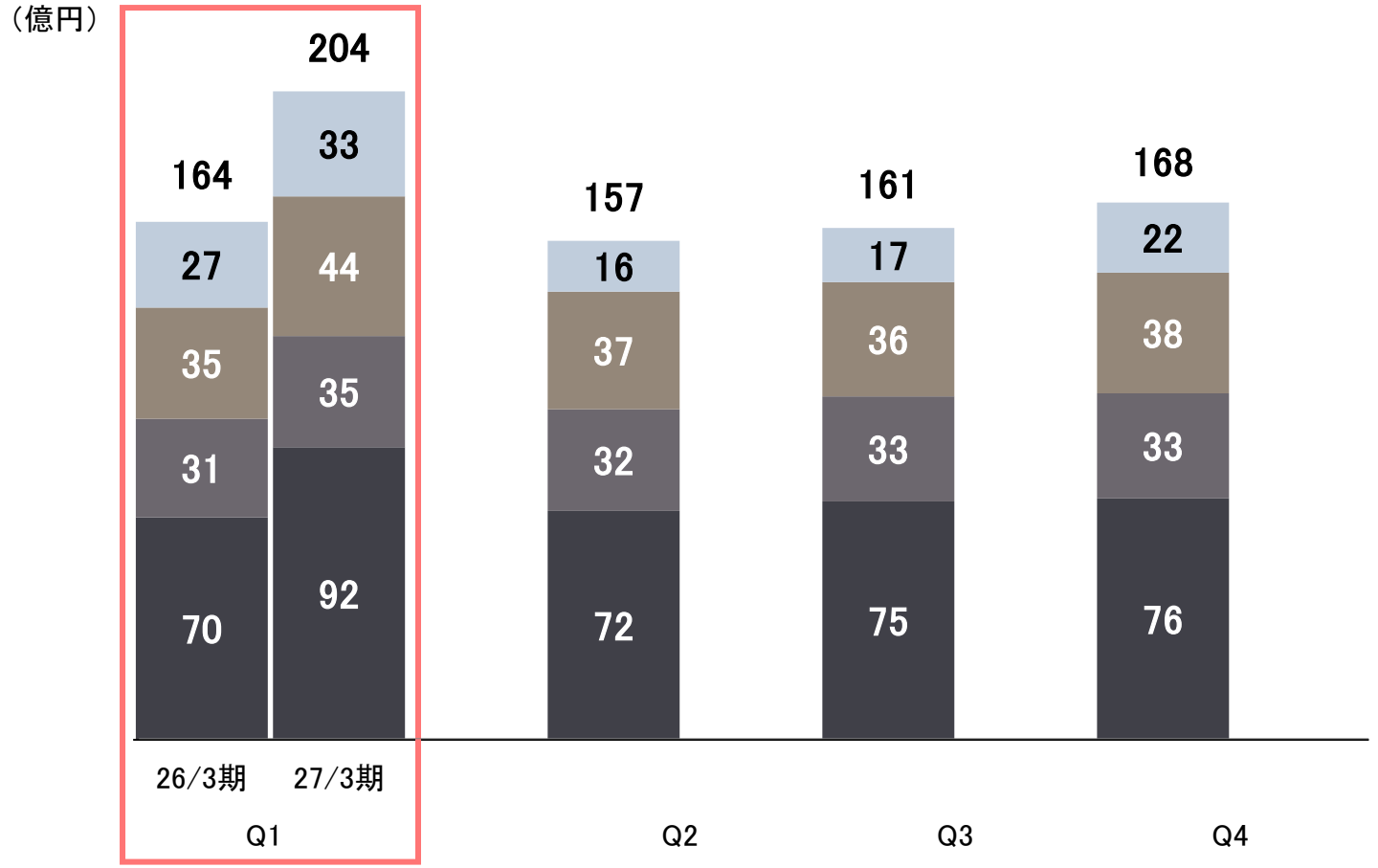
＜営業利益率＞

	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
27/3期	11.6%				
26/3期	6.9%	5.7%	6.0%	4.8%	5.9%
25/3期	3.8%	3.4%	4.5%	6.6%	4.6%

DSドメイン　分類別売上高

■ 医療向け酸化銀電池を中心とした小型電池、AIサーバやデータセンタ、光通信市場の拡大を背景とした水晶発振器用ICが大きく伸長

■ 高機能金属、水晶、自動車部品、サーマルプリンター、インクジェットヘッドも前年同期から売上高が増加



主な商品・製品・サービス

その他
水晶発振器用IC、センサ用IC

プリンティングデバイス
インクジェットヘッド、サーマルプリンタ

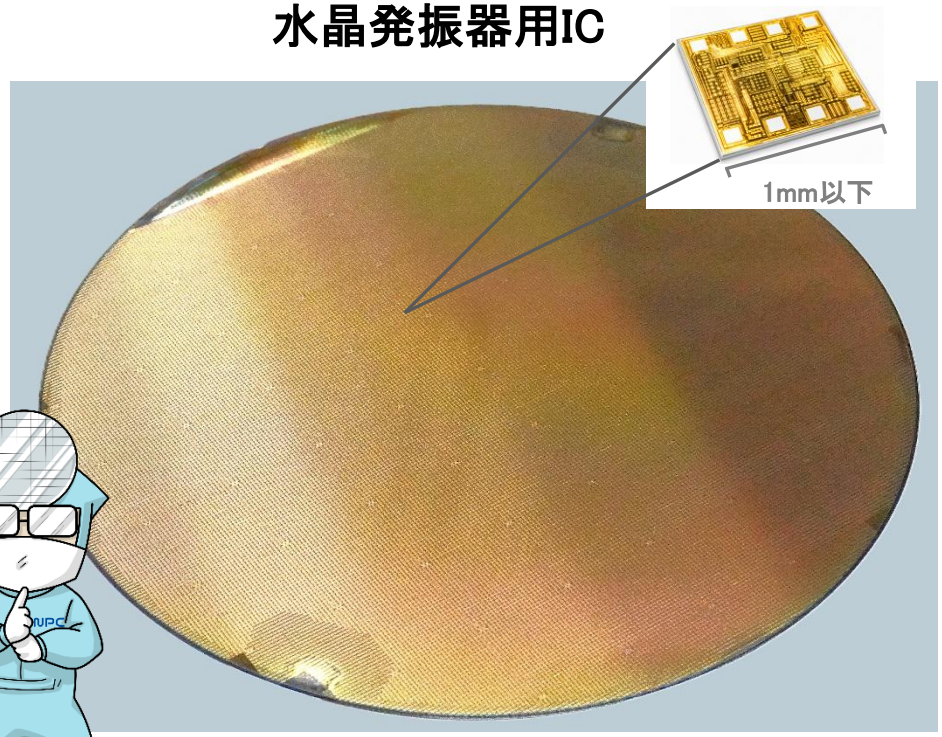
精密デバイス
自動車用部品、その他精密切削部品

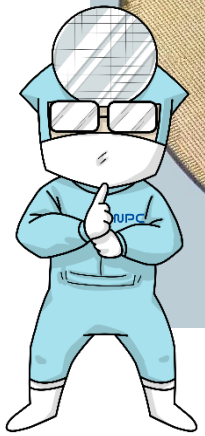
電子デバイス
マイクロ電池、チップキャパシタ、水晶振動子、
高機能金属製品、希土類磁石

DSドメイン　トピックス

■ 生成AIの急速な普及に伴い、AIサーバ及び光トランシーバ市場が急成長。
セイコーNPCの高精度・高周波タイミングデバイス（水晶発振器用IC）の需要が拡大

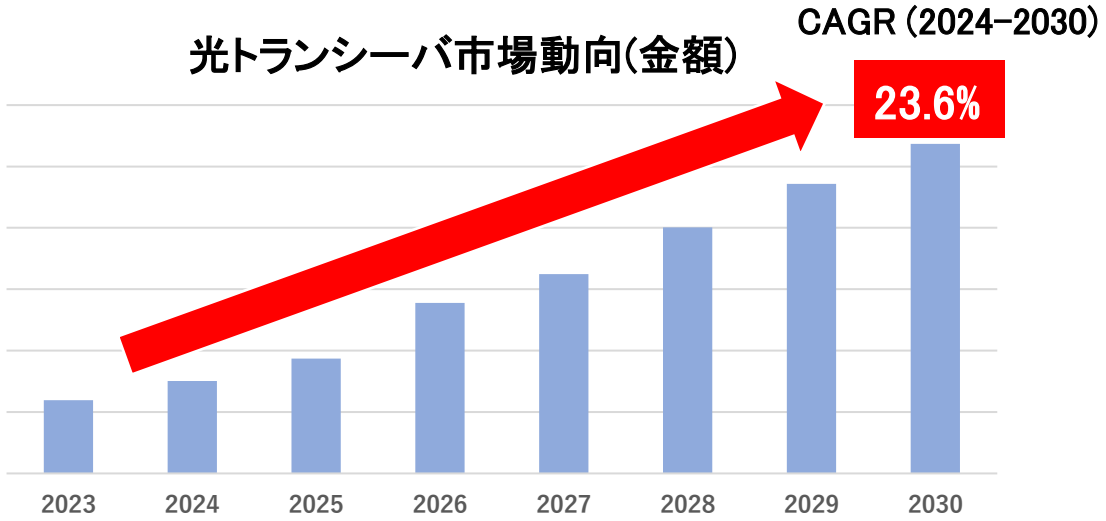
水晶発振器用IC





セイコーNPC公式キャラクター
塩原はんぞう

光トランシーバ市場動向(金額)

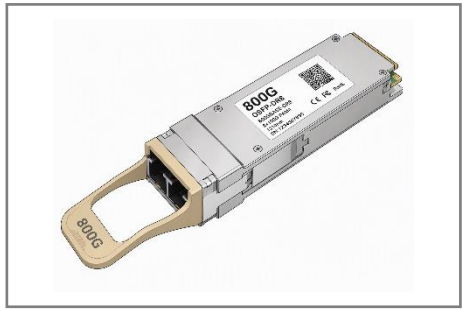


出典：(株)富士キメラ総研調査資料を基に当社加工

AIサーバ



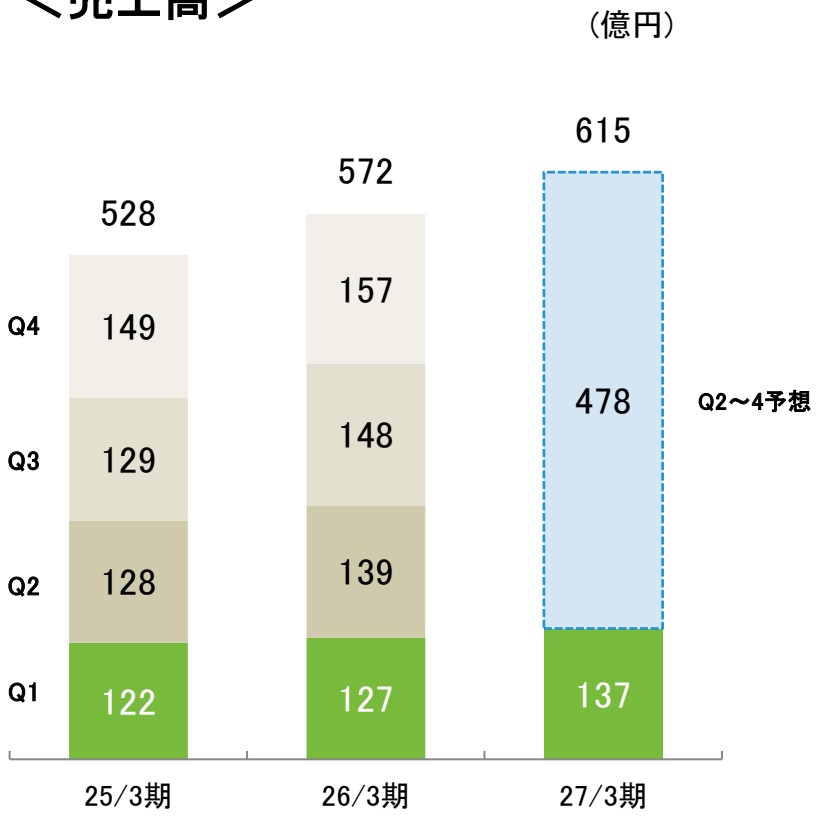
光トランシーバ



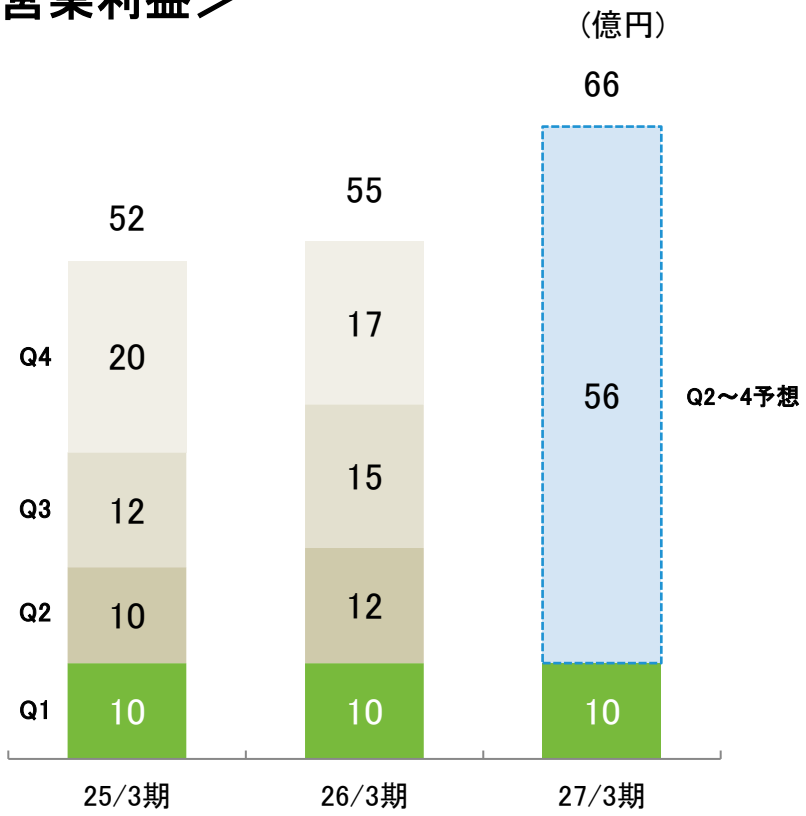
SSドメイン　売上高・営業利益

■ SSOLの事業は、41四半期連続で対前年同四半期比増収増益を達成

＜売上高＞



＜営業利益＞

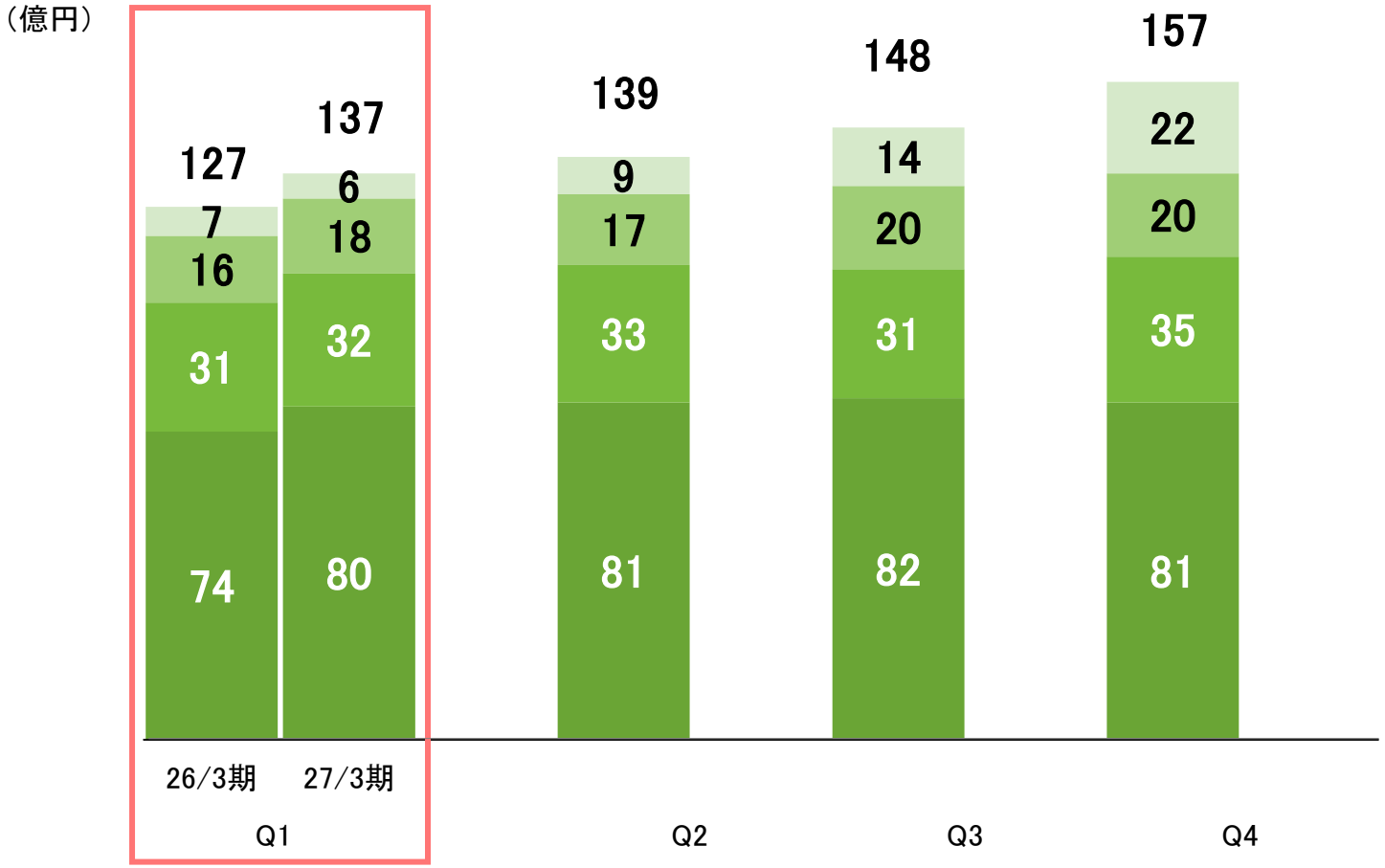


＜営業利益率＞

	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
27/3期	**7.1%**				
26/3期	7.7%	8.9%	10.4%	11.1%	9.6%
25/3期	8.1%	7.8%	9.4%	13.3%	9.8%

SSドメイン　分類別売上高

■ 前年度から引き続きITインフラ関連やセキュリティ関連ビジネスが堅調に推移したほか、外食チェーン向けオーダーエントリーシステムも伸長



主な商品・製品・サービス

ファシリティー関連
- ・設備時計・デジタルサイネージ
- ・スポーツ計時計測機器

決済関連
- ・決済/オーダリングサービス（CX/EX、外食DX、ホテルDX）

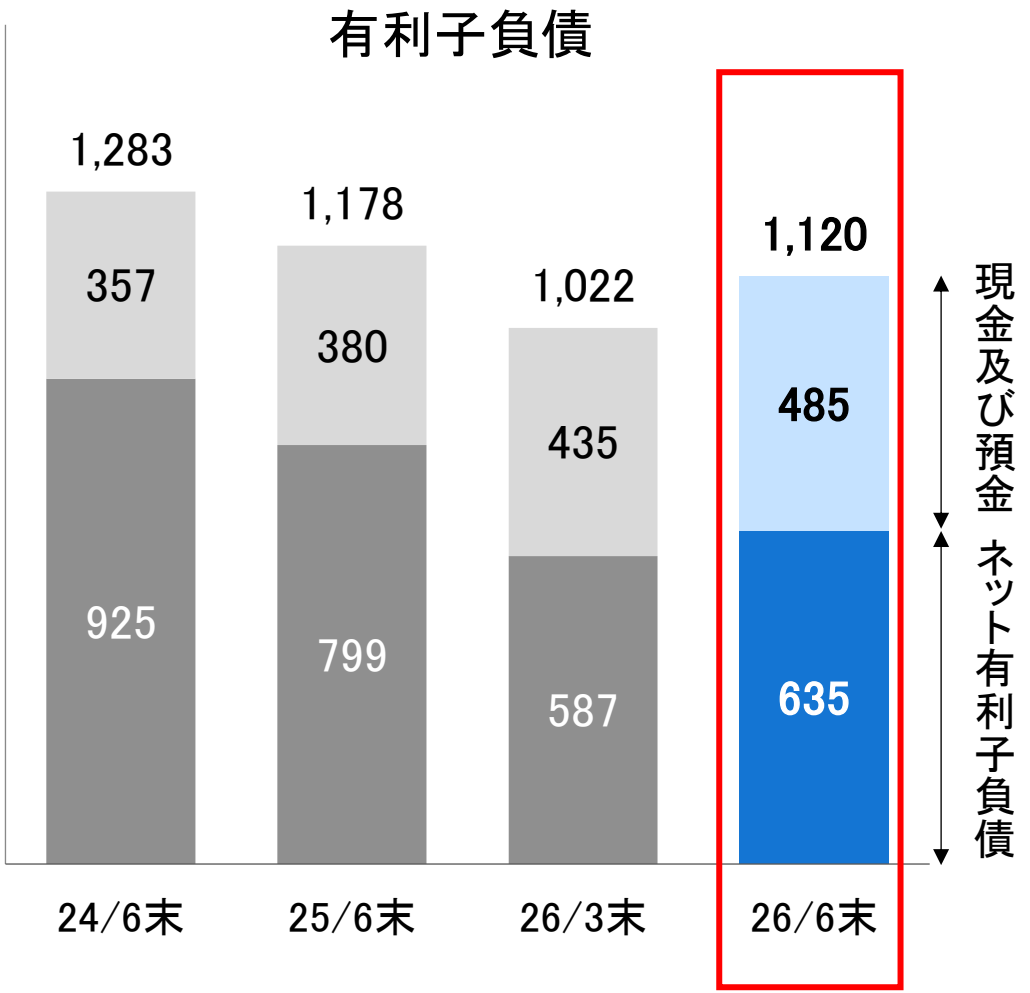
IoT関連
- ・ハードウェア＆ソフトウェアソリューション（IoTプラットフォーム/機器・組込モジュール、個人向け製品・サービス（モバイル通信機器等））

システム関連
- ・DXプラットフォーム（性能管理、セキュリティ、タイムスタンプ/電子契約、時刻同期）
- ・システムインテグレーション

貸借対照表

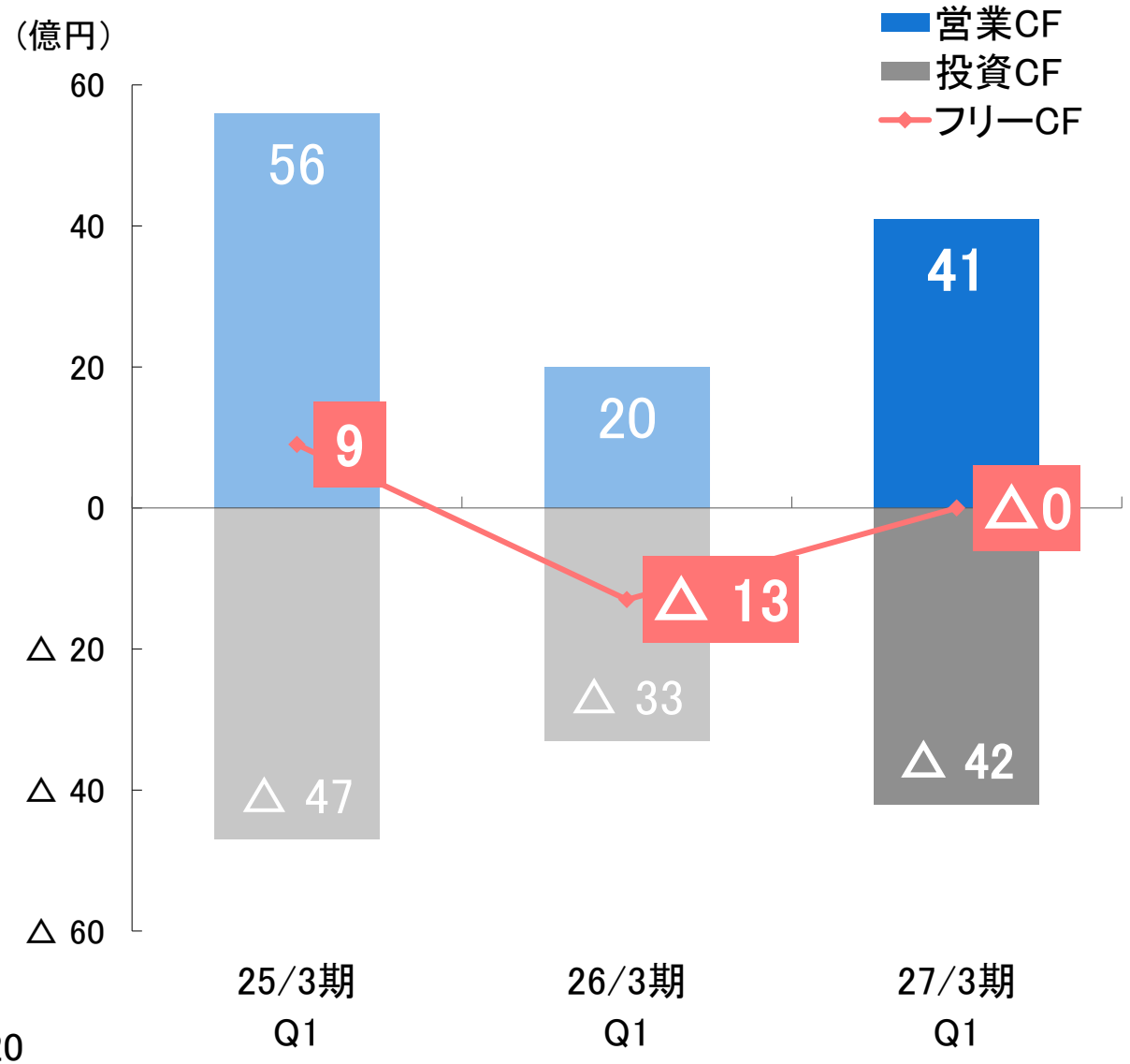
■ 好調な業績に伴う利益剰余金の増加等により、自己資本比率が改善

（億円）	24/6末	25/6末	26/3末 (a)	26/6末 (b)	増減 (b)-(a)
棚卸資産	884	835	856	**868**	+12
有利子負債	1,283	1,178	1,022	**1,120**	+98
純資産	1,567	1,578	1,775	**1,919**	+144
総資産	3,858	3,672	3,839	**4,072**	+234
自己資本比率	40.0%	42.4%	45.8%	**46.7%**	+0.9pt
在庫回転率	1.9	2.0	2.2	**2.4**	+0.2



キャッシュフロー（概算値）

■ 純利益の増加に伴い、営業CFが増加



	25/3期 Q1	26/3期 Q1	27/3期 Q1
税引前四半期純利益	54	90	165
減価償却費	37	34	35
その他	△ 35	△ 104	△ 159
営業CF	56	20	41
有形固定資産の取得	△ 29	△ 29	△ 28
その他	△ 17	△ 4	△ 14
投資CF	△ 47	△ 33	△ 42
フリーキャッシュフロー	9	△ 13	△ 0
借入金の借入・返済収支	34	32	97
配当金の支払	△ 18	△ 23	△ 43
その他	△ 6	△ 7	△ 7
財務CF	9	2	46
現金等の換算差額等	12	△ 4	4
現金及び現金同等物の増減	31	△ 15	51

SMILE145　KPI

	MVP比率(*) 当期Q1	MVP比率(*) （対前年同期）	GP率 （対前年同期）	営業利益 当期Q1	営業利益 （対前年同期）
EVS	約 55%	（約 +数pt）	+0.7pt	140億円	+81.0%
	FY2026目標　60%				
うち、ウオッチ事業	国内　約 75%（概ね同水準）	海外　約 75%（概ね同水準）			
	FY2026目標　85%以上				
DS	約 30%	（約 +5pt）	+2.7pt	24億円	+109.3%
	FY2026目標　60%				
SS	約 75%	（概ね同水準）	△1.8pt	10億円	+0.2%
	FY2026目標　73%				
連結合計			+1.9pt	154億円	+88.8%

FY2026目標　FY2021比＋5.0pt
（連結合計、各ドメイン共通）

1. 実績・業績予想のポイント
2. 第1四半期 実績
3. 通期業績予想

2027年3月期　業績予想

■ 売上高は前回比 170億円増（4.7%up）、営業利益は75億円増（22.4%up）に上方修正

（億円）	26/3期 実績	27/3期予想 前回 (5/13)	27/3期予想 今回 (8/7)	対前期 増減	対前回 増減
売上高	3,357	3,580	**3,750**	+393	+170
営業利益	309	335	**410**	+101	+75
%	*9.2%*	*9.4%*	***10.9%***	*+1.7pt*	*+1.5pt*
経常利益	331	340	**415**	+84	+75
%	*9.9%*	*9.5%*	***11.1%***	*+1.2pt*	*+1.6pt*
親会社株主に帰属する当期純利益	220	230	**280**	+60	+50
%	*6.5%*	*6.4%*	***7.5%***	*+1.0pt*	*+1.1pt*

■ 為替レート・為替感応度（7～3月）

感応度	USD	EUR
見込レート	155.0円	175.0円
売上高	約3.5億円	約1.5億円
営業利益	約1.2億円	約0.8億円
（参考）前回見込レート	150.0円	170.0円

■ 為替レート（実績）　（円）

		Q1
平均レート	USD	159.6
	EUR	185.4
決算日レート	USD	162.5
	EUR	185.4

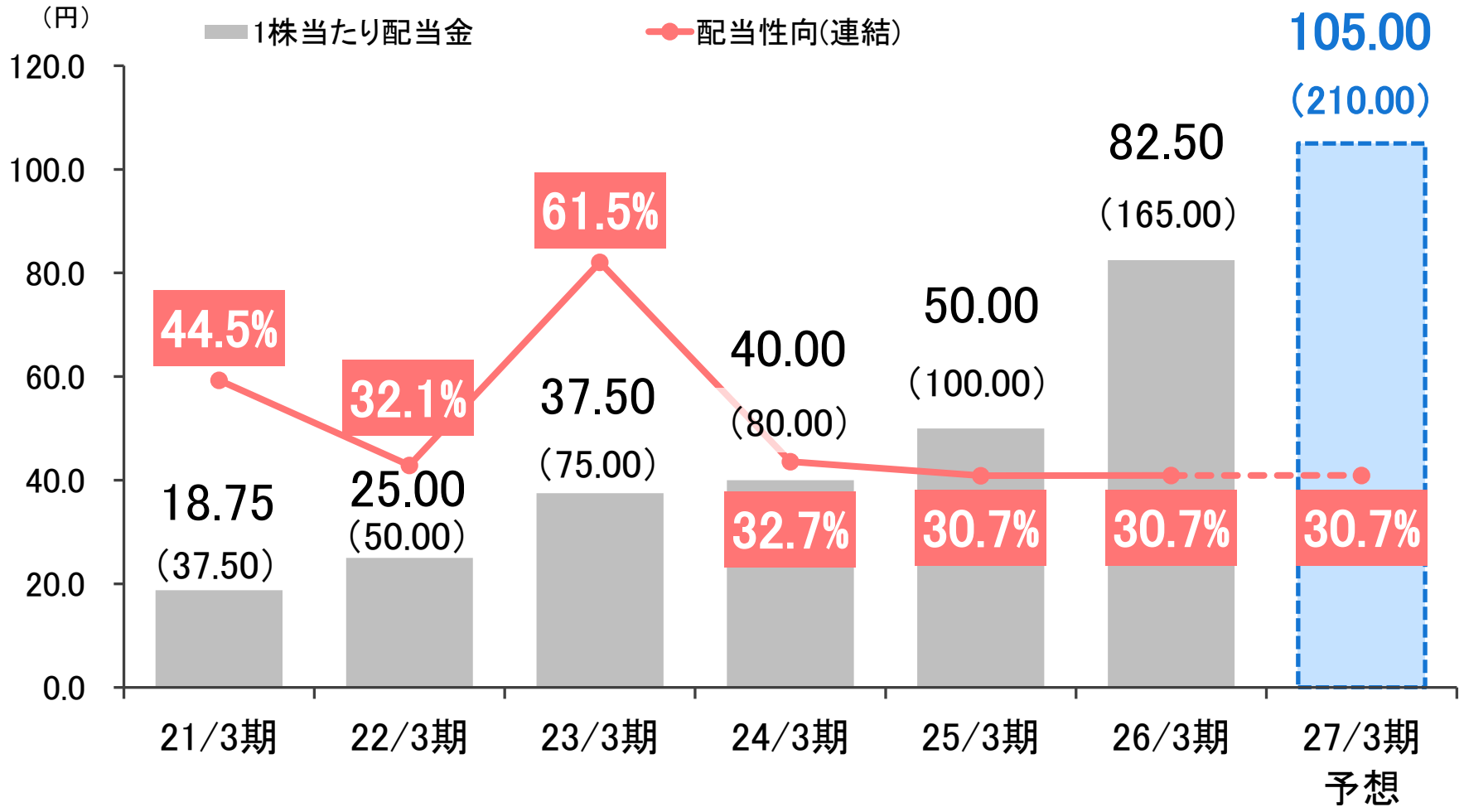
2027年3月期　業績予想（セグメント別売上高・営業利益）

■ ウオッチ事業およびDSドメインの売上高・営業利益を上方修正

（億円）		売上高					営業利益				
		26/3期 実績	27/3期予想 前回 (5/13)	27/3期予想 今回 (8/7)	対前期 増減	対前回 増減	26/3期 実績	27/3期予想 前回 (5/13)	27/3期予想 今回 (8/7)	対前期 増減	対前回 増減
エモーショナル バリュー ソリューション	ウオッチ事業	2,031	2,120	**2,240**	+209	+120	270	290	**350**	+80	+60
	その他・調整	173	170	**170**	△3	－	16	20	**20**	+4	－
	計	2,204	2,290	**2,410**	+206	+120	286	310	**370**	+84	+60
デバイスソリューション		650	735	**805**	+155	+70	38	43	**64**	+26	+21
システムソリューション		572	615	**615**	+43	－	55	66	**66**	+11	－
計		3,426	3,640	**3,830**	+404	+190	379	419	**500**	+121	+81
その他		43	45	**45**	+2	－	2	1	**1**	△1	－
調整額		△112	△105	**△125**	△13	△20	△73	△85	**△91**	△18	△6
連結計		**3,357**	**3,580**	**3,750**	**+393**	**+170**	**309**	**335**	**410**	**+101**	**+75**

株主還元

■ 業績予想の上方修正に伴い、年間配当予想を15円増配し、90円⇒105円へ修正



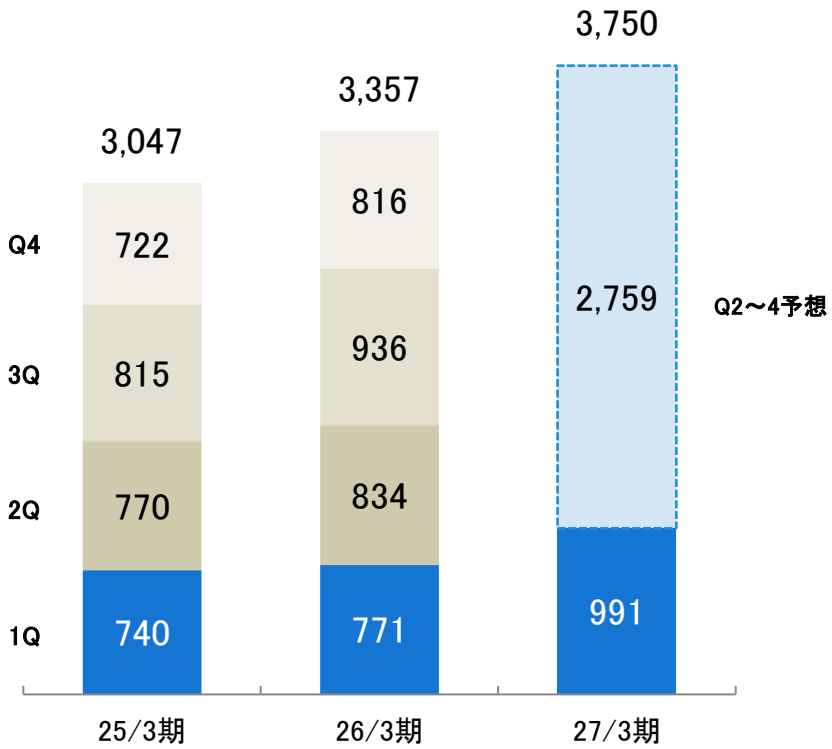
※2026年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。21/3期～26/3期配当は、株式分割を考慮した場合の数値を記載。なお、参考値として株式分割の影響を考慮しない金額を括弧内に記載。


SEIKO

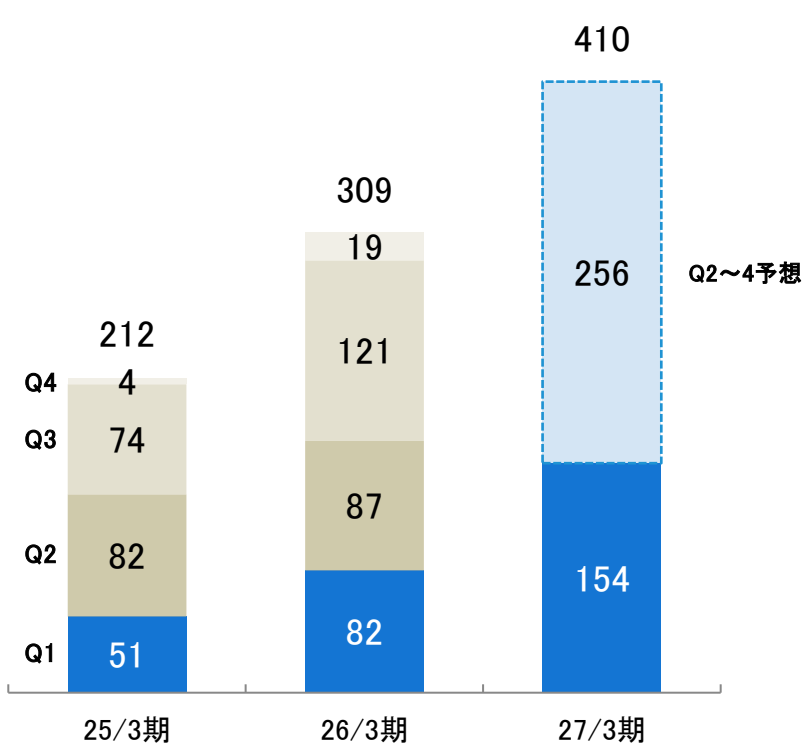
参 考

連結売上高・営業利益　四半期推移

＜売上高＞



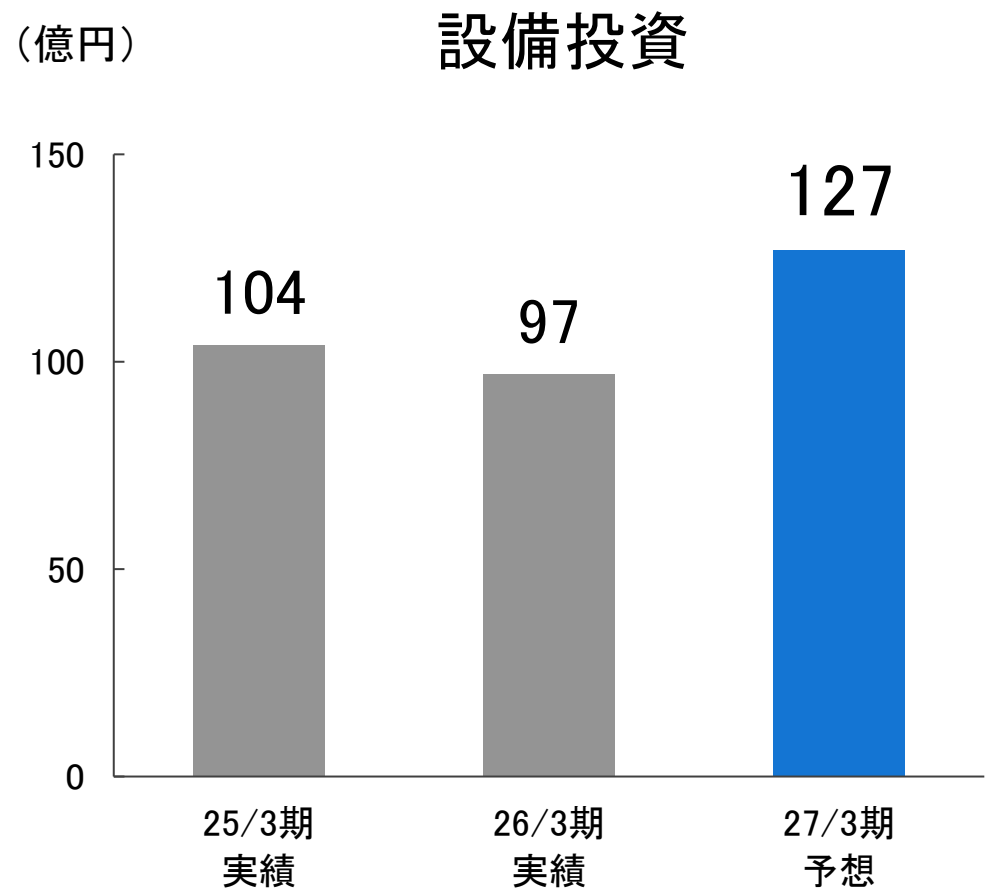
＜営業利益＞

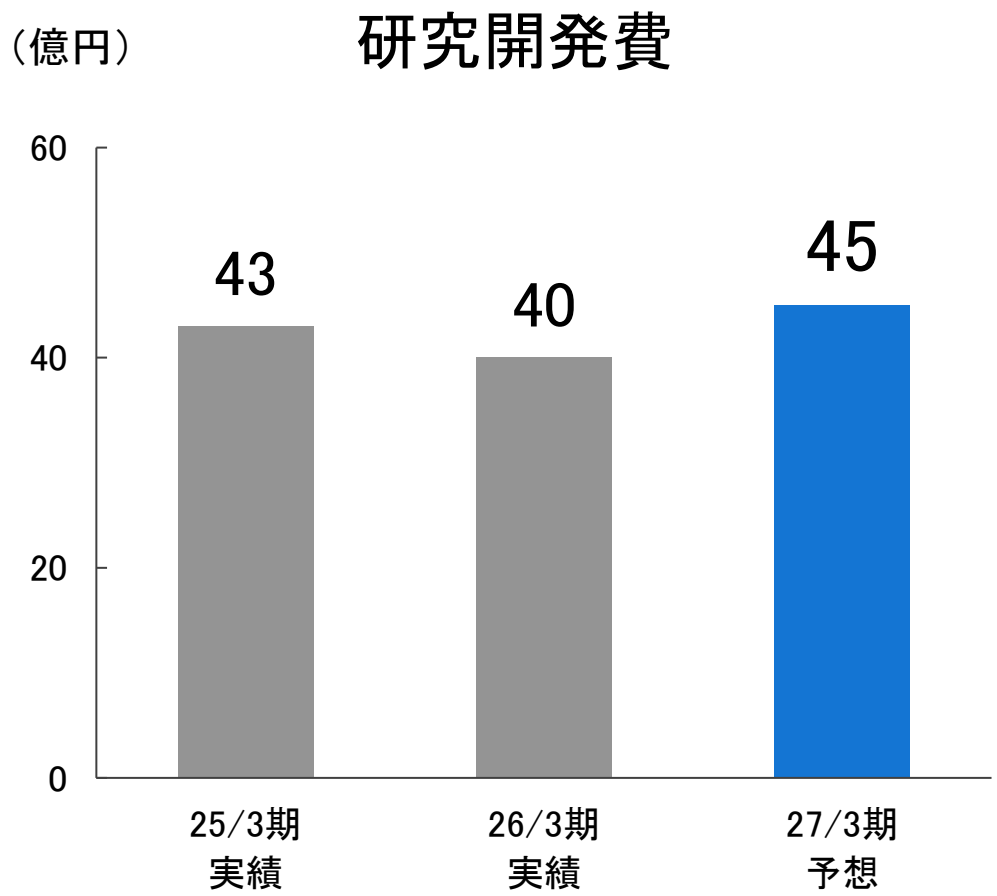


＜営業利益率＞

	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
27/3期	**15.6%**				
26/3期	10.6%	10.4%	12.9%	2.3%	9.2%
25/3期	6.9%	10.7%	9.1%	0.6%	7.0%

設備投資・研究開発費





※前回（5/13）発表の予想から変更なし

事業概要



65.5 %

18.0 %

16.5 %

エモーショナルバリューソリューションドメイン

機能的価値･感性的価値･社会的価値の高い製品･サービスを創出するとともに、
優れた顧客体験を提供するドメイン

主な商品・製品・サービス：
ウオッチ、クロック、高級宝飾品　等

売上高：2,204億円
営業利益：286億円

デバイスソリューションドメイン

時計製造や開発から生まれた精密かつ確かな技術で、社会が求める高機能で
高品質な製品を提供するドメイン

主な商品・製品・サービス：
電子デバイス、精密デバイス、プリンティングデバイス　等

売上高：650億円
営業利益：38億円

システムソリューションドメイン

コンサルテーションからシステム構築、運用管理まで社会のイノベーションを
ワンストップのICTソリューションで提供するドメイン

主な商品・製品・サービス：
決済/オーダリングシステム、IoTプラットフォーム/機器・組込モジュール、
DXプラットフォーム、システムインテグレーション、設備時計　等

売上高：572億円
営業利益：55億円

※上記比率は、ドメイン別売上高構成比であり、
本比率は外部顧客への売上高をもとに算出。

本資料内で使用している略称について

EVS	エモーショナルバリューソリューション（ドメイン）
DS	デバイスソリューション（ドメイン）
SS	システムソリューション（ドメイン）
SWC	セイコーウオッチ（株）
SII	セイコーインスツル（株）
SSOL	セイコーソリューションズ（株）
STC	セイコータイムクリエーション（株）
NPC	セイコーNPC（株）
SFC	セイコーフューチャークリエーション（株）
GS	グランドセイコー
GB	グローバルブランド（セイコーGBとはGS以外のグローバルブランドを指す）
SMILE145	第8次中期経営計画（2022年度-2026年度）
MVP製品/サービス	感動(Moving)をもたらす高付加価値(Valuable)・高収益(Profitable)な製品/サービス
MVP比率	EVS：売上高に占めるGB等のラグジュアリー領域および感性価値の高い製品の売上割合 （ウオッチ事業：MVP比率=GB比率） DS　：売上高に占めるデジタルエコノミーおよびグリーンエコノミー市場向けの売上割合 SS　：限界利益に占めるストックビジネスの割合

将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

数値の表示について

本資料では特に注意書きがない場合、下記の通り表示しています。

金額：表示単位未満の端数を四捨五入

比率：表示単位未満の端数を四捨五入

End